

1面のコラム「^{しゃめん}斜面」を読もう

斜面

2024.5.5

フランス政府が先ごろ公表したユーロ硬貨3種の新たなデザインに目を奪われた。激動の20世紀を駆け抜けて歴

史に名を刻んだ3人の女性の肖像が、それぞれあしらわれている。その1人で、50^ト硬貨の顔となるのがマリー・キュリー◆日本ではキュリー夫人の名で通っている。ロシア帝国占領下のポーランドに生まれ、苦学を重ねパリに留学。夫ピエール・キュリーと幾多の試練を経て放射能の研究を飛躍的に進めた。女性初のノーベル賞受賞者にして、異なる分野で2度受賞を果たす◆ピエールが事故で急逝すると、マリーは8歳と1歳の娘を抱えたシングルマザーとして奮闘する。偉大な科学者であると同時に「良妻賢母」のイメージが強いのは、次女エーヴが著した伝記の影響が大きい。ただ、近年は研究の深化に伴い、新たな視点からの評伝も相次いでいる◆最初のノーベル賞の候補リストにマリーの名はなかった。当時女性科学者は一人前と見られていなかった。選考委員に推薦の手紙を書いたのはほかならぬピエールだ。彼の死後恋愛スキャンダルに見舞われたマリーは、世間から「外国女」と排斥された◆異国出身の1人の女性として苦闘しながら、道を切り開いたマリー。20^ト硬貨に登場する歌手のジョセフィン・ベイカーも米国生まれの移民だ。自由を愛し差別と闘い、大戦中はレジスタンスに身を投じた。日本もいつか多様なルーツ、多様な性の人たちが貨幣の顔となる日が来てほしい。

斜面

2024.5.6

想像以上の状況に絶句した。1日の本紙社会面で伝えた山梨県富士河口湖町の「なくなる富士山」の記事。コン

ビニの屋根越しに富士山を撮影できるスポットに外国人が押し寄せたため、町が富士山を見えなくする黒幕の設置を始めた◆この場所の写真がSNSで話題となつて呼び水となり、一方で1年半ほど前からマナー違反が目立つように。観光客が増えるのはありがたいはず。他の手はなかったものかと思つていたら、コンビニ向かい側の歯科医院が、サイトに詳細を投稿していた◆観光の一助に、と私有地での撮影を許可していたが、ごみ放置や喫煙のほか、自宅軒下での食事など迷惑行為が続いた。屋上への不法侵入や車道に出て撮影する人も横行。注意したら激高されて、通報しても次々に観光客が訪れ「打つ手なし」。最後は町に対策を要望したという◆増え過ぎた観光客が住民生活や環境を脅かす「オーバーツーリズム」。世界的に深刻で、イタリヤのベネチアでは観光客抑制のため、日帰り客から入場料5^千円（約830円）の試験徴収を4月下旬から開始。国内は京都などでトラブルが報告されている◆連休中は天候に恵まれ県内でも例年以上に外国人の姿があった。円安が後押ししているのか。観光客の増加は経済の起爆剤になるが、文化や習慣の違いはトラブルを招きかねない。みんなが笑ってウィンウィン（相互利益）になる方法を探らねば。黒幕で終わらせたら双方気まずいだけだ。

1面のコラム「^{しゃめん}斜面」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

斜面

2024. 5. 6

そうぞういじょうのじょうきょうにぜっくした。1日の本紙しゃかいめんでつたえたやまなしけん富士河口湖町の「なくなるふじさん」のきじ。コンビニのやねごしにふじさんをさつえいできるスポットにがいこくじんがおしよせたため、まちがふじさんを見えなくするくろまくのせつちをはじめた◆このばしよのしゃしんがSNSでわだいとなつてよびみずとなり、いっぽうで1ねんはんほどまえからマナーいはんがめだつように。かんこうきゃくがふえるのは**ありがたい**はず。ほかのてはなかつたものかとおもっていたら、コンビニおむかいがわのしかいいんが、サイトにしようさいをどうこうしていた◆かんこうのいちじよに、としゅうちでのさつえいをきよかしていたが、ごみほうちやきつえんの**ほか**、じたくのきしたでのしよくじなどめいわくこういがつづいた。おくじょうへのふほうしんにゆうやしゃどうにでてさつえいするひともおうこう。ちゅういしたらげきこうさ

れて、つうほうしてもつきづぎにかんこうきゃくがおとずれ「うつてなし」。さいごはまちにたいさくをよぎたかんこうきゃくがじゅうみんせいかつやかんきょうをおびやかす「オーバーツーリズム」。せかいてきにしんこくで、イタリアのベネチアではかんこうきゃくよくせいのため、ひがえりきゃくからにゅうじょうりょう5呎（やく830えん）のしけんちようしゅうを4がつげじゅんからかいし。こくないはきょうとなどでトラブルがほうこくされてい**る**◆れんきゅうちゅうはてんこうにめぐまれけんないでもれいねんいじょうにがいこくじんのすがたがあつた。えんやすがあとおししているのか。かんこうきゃくのぞうかはけいぎいのきばくざいになるが、ぶんかやしゅうかんのちがいはトラブルをまねきかかない。**みんな**がわらつてウィンウィン（そうごりえき）になるほうほうをさぐらねば。くろまくでおわらせたらそうほうきまずいだけだ。

太字や固有名詞などの漢字は原文のままです。

コラム「斜面」を読んで考えを深めよう

斜面

2024.5.5

フランス政府が先ごろ公表したユーロ硬貨3種の新たなデザインに目を奪われた。激動の20世紀を駆け抜けて歴史に名を刻んだ3人の女性の肖像が、それぞれあしらわれている。その1人で、50^{ユーロ}硬貨の顔となるのがマリー・キュリー◆日本ではキュリー夫人の名で通っている。ロシア帝国占領下のポーランドに生まれ、苦学を重ねパリに留学。夫ピエール・キュリーと幾多の試練を経て放射能の研究を飛躍的に進めた。女性初のノーベル賞受賞者にして、異なる分野で2度受賞を果たす◆ピエールが事故で急逝すると、マリーは8歳と1歳の娘を抱えたシングルマザーとして奮闘する。偉大な科学者であると同時に「良妻賢母」のイメージが強いのは、次女エーヴが著した伝記の影響が大きい。ただ、近年は研究の深化に伴い、新たな視点からの評伝も相次いでいる◆最初のノーベル賞の候補リストにマリーの名はなかった。当時女性科学者は一人前と見られていなかった。選考委員に推薦の手紙を書いたのはほかならぬピエールだ。彼の死後恋愛スキャンダルに見舞われたマリーは、世間から「外国女」と排斥された◆異国出身の1人の女性として苦闘しながら、道を切り開いたマリー。20^{ユーロ}硬貨に登場する歌手のジョセフィン・ベイカーも米国生まれの移民だ。自由を愛し差別と闘い、大戦中はレジスタンスに身を投じた。日本もいつか多様なルーツ、多様な性の人たちが貨幣の顔となる日が来てほしい。

① コラム「斜面」を読んで、筆者が言いたいことを簡潔に書きましよう。

② 【意見提示】 「斜面」の内容に対するあなたの意見を書きましよう。

③ 【展開】 あなたの意見の根拠を三つ書きましよう。

()

()

()

伝えたい順番

